

平成30年度北海道災害ボランティアセンター 初期支援チーム研修会 開催要綱

1 目的

阪神・淡路大震災後活発となった災害ボランティア活動ですが、その後20年を経た現在、その精神は社会に着実に浸透しています。平成28年度相次いで道内を襲った台風による災害では、南富良野町、新得町、清水町、芽室町に道内外の関係者やボランティアが関わる災害ボランティアセンターが設置され、被災者支援活動が展開されました。

災害が発生した場合に、被災者の日常生活や地域生活を一日も早く再建するためには、初動期の円滑な支援体制の構築が重要です。

本研修は、主に災害ボランティアセンター立ち上げ最初期の支援を行う「初期支援チーム」への参画が期待される人材の養成を目的として開催します。

2 主催 北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会）

3 とき・ところ 平成30年12月3日（月） かでの2・7・520研修室 （札幌市中央区北2条西7丁目1番地 ☎ 011-204-5100）

4 参加対象 ※下記①・②を満たす社協職員、行政職員（危機管理及び災害時ボランティア受け入れ計画担当、要配慮者支援担当者など）、災害ボランティアネットワーク会議参加団体の構成員等

①北海道災害ボランティアセンターの依頼により災害発生時に初期支援チーム派遣の任につける者

②平成29・30年度災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修受講者

③災害救援活動の支援に関する協定締結済み社協（※市町村社協のみ）

※本研修受講者を災害発生時に被災地域に強制的に派遣させるものではありません。

5 参加経費 無料

6 定員 100名

7 日程

9:45 10:20 10:30 12:00 13:00 15:00 16:30

(1) 受付	(2) 開会	(3) ディスカッション	休憩	(4) 講義	(5) ケーススタディー・振り返り	閉会
-----------	-----------	-----------------	----	-----------	----------------------	----

8 内 容

(1) 受 付 (9:45~10:20)

(2) 開 会 (10:20~10:30)

(3) 災害支援経験者によるディスカッション (10:30~12:00)

「災害ボランティアセンター運営・支援を振り返って～過去の災害経験から～」

【コーディネータ兼スピーカー】

・一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

【スピーカー】

・北川 進 氏 (宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部 震災復興支援室 主幹)

・清水町社会福祉協議会 (平成28年台風災害時災害ボランティアセンター設置社協)

・過去の災害ボランティアセンター運営 (特に立ち上げ初期の状況) について失敗談を含めながらディスカッションを展開します。受援者 (災害ボランティアセンター運営主体となる被災地の社会福祉協議会職員や被災者) の率直な気持ち、行政との連携の大切さや連携するためのコツなど、支援初期に特に留意すべき点について学びます。

(4) 講義 (13:00~15:00) 「災害ボランティアセンター運営の要素と支援者が留意すべき点」

【講師】

・一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

・災害ボランティアセンターの業務・人員体制・内容やヒト・モノ・カネの集め方、広報活動の形など、センター運営初期に必要な知識を俯瞰的に学びます。

(5) ケーススタディーと振り返り (15:00~16:30) 「初期支援の際に留意すべきことから」

【講師】

・一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

・ケーススタディーを通し地元主体の観点の徹底など、初期の支援者として重視すべき観点について学びます。また、振り返りを通し、今後の研修展開案について考えます。

9 研修講師

一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に2011年4月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っている。これまでに海外10ヶ国、国内34地域での被災地支援を実施、延べ9万人以上のボランティアをコーディネート。その経験を基に平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、中でも防災・減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練はこれまで500回以上、延べ受講人数は14,000人以上にのぼる。

主な支援先…東日本大震災：宮城県石巻市等 (継続中)、伊豆大島土砂災害：大島町

関東・東北豪雨：茨城県常総市等、熊本地震：益城町・西原村等、

九州北部豪雨：東峰村、朝倉市 等

主な研修実績…災害ボランティアセンター運営者研修

主催：全国社会福祉協議会

各開催地 (茨城、福井、岡山、福岡等) 県社会福祉協議会

民間事業者による災害時の社会貢献活動 ～企業に求められる災害支援～

主催：栃木県危機管理課

わが家の災害対応ワークショップ

主催：株式会社カインズ 等

1 0 参加申し込み

別紙「参加申込書」を 11月12日(月) までに本会あてFAXにてお申し込みください。
なお、参加申込書に記載された個人情報は、本研修の運営管理のみに利用させていただきます。
(配布資料に氏名、所属・役職を記載した名簿を掲載いたします。)

1 1 申し込み、問い合わせ先

北海道災害ボランティアセンター (担当：宮川・坂本)

(北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課内)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階

☎ 011-271-0683 / FAX 011-271-3956

【送信先】FAX：011-271-3956

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課 宮川・坂本 行

平成30年12月3日（月）開催

平成30年度北海道災害ボランティアセンター
初期支援チーム研修会
参加申込書

所属（〇〇市〇〇社協〇〇課 など）	参加者職名・氏名	性別
市町村名)	職名)	男 ・ 女
団体名)	お名前)	
部署名)		
平成29・30年度「災害ボランティアコーディネーター養成・資質向上研修」の受講有無 ※初期支援チーム研修会は、この研修の受講終了が参加の要件です。どちらかに☑願います。		
<input type="checkbox"/> 平成29年度に受講した		
<input type="checkbox"/> 平成30年度に受講した（受講予定含む。札幌、苫小牧、北見の3会場）		

申込担当者氏名： _____

電話番号：

FAX番号：

※1 「参加申込書」に記載された個人情報は、本研修の運営にのみ利用いたします。記載内容につきまして、参加者名簿を参加者に配布する予定ですので、あらかじめご了承ください。

※2 複数名のお申込みの場合は、本用紙をコピーしてご使用ください。

※3 申込み締切 11月12日（月）